

100億宣言



建設機械用油圧バルブ部品

- 本社所在地：岡山県岡山市南区箕島557番地の4
- 事業概要：大手建設機械メーカーへの鋳鉄 鋳物油圧バルブ部品の設計・製造・販売
- 常時使用する従業員：333名（2025年3月期）
- 現在の売上高：75億円（2025年3月期）
- 法人番号：5260001000233
- Web：https://asagoe-net.co.jp/

アサゴエ工業株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
藤原 宏嗣

鋳物製品を通して顧客と従業員の満足度を実現し社会へ貢献

アサゴエ工業株式会社は1964年創業以来、超高压力の繰り返し応力に耐える建設機械の心臓部である複雑な内部形状の油圧機械や、自動車用ブレーキ部品など高い品質と信頼性が求められる製品を提供しており、特に中・大型建設機械分野では西日本トップクラスのシェアを誇っている。「地域未来牽引企業」である当社は、鋳物の製造を通じて、クライアント企業と地域経済への中心的な担い手として社会に貢献し、従業員の福祉と幸福の実現を目指している。本事業により、生産性向上・新規顧客獲得を行い顧客・従業員共に満足度の高い売上高100億円企業を目標とする。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 下記目標を通して2031年の売上高達成に向け、年率5%程度の成長を目指す。※詳細はP2参照
- ①新規顧客の獲得(東日本・アジア圏)
 - ②システム化による生産性向上を行いコスト競争力の強化を図る(画像判定による外観検査自動化、ダッシュボードによる各種工程の見える化)
 - ③離職率の低減、労働災害低減による安全職場の実現

課題

- ①東日本及びアジア圏への新規顧客の獲得
- ②生産効率向上による高付加価値業務へのリソースの再配置・人材育成
- ③従業員の労働環境の改善、安全職場の実現

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 1.設備投資による生産体制の強化、省力化の実現
- 2.リソース再配置による高付加価値業務(システム化、ノウハウの形式知化など)の強化
- 3.東日本・アジア圏への新規顧客開拓
- 4.グループ会社とのリソース統合によるシナジー強化
- 5.エネルギーコストの削減

※数字は優先順位

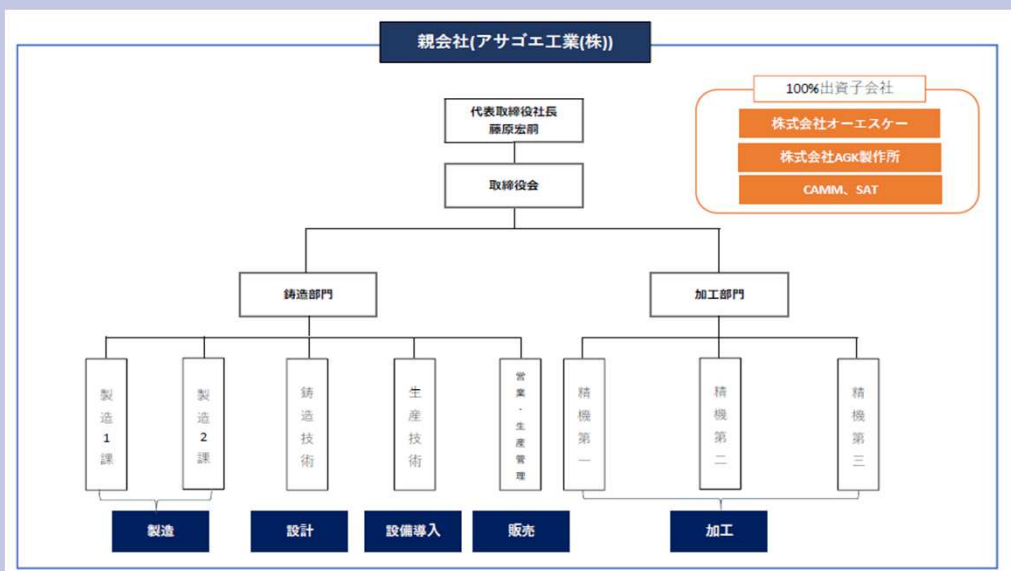
実施体制

- ・新規設備(自動倉庫)導入のための製造2課及び生産技術部と社内外Slerなど外部リソースの活用
- ・生産管理システム構築のための当社生産管理課及びIT推進課を中心とした外部システムベンダーなど外部リソースの活用
- ・グループ会社のリソース統合
- ・社内リソースの配置及び人材育成・強化

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

当社組織図は下記の通りである。当社は鑄造部門及び精密加工部門からなり鑄造技術部による設計から製造1課、2課による製造、営業を通した販売に至るまで短納期で顧客に製品を提供している。その他加工分野では鑄造後品の精密加工を行っており自社内で一貫した体制でものづくりが可能である。また、2024年4月には(株)オーエスケーとM&Aによるグループ化を行い、ノウハウの共有による技術力向上、リソース統合によるコスト削減等グループシナジー強化を行い、売上高向上を図っている。



直近5年の新規事業・顧客の獲得状況及び今後の設備導入計画は下記の通りである。

【直近5年での新規事業・顧客】

2021年12月 浅越貿易有限公司 設立

2022年4月 CMM設立

2024年4月 (株)オーエスケーとM&Aにてグループ化

【新規顧客】

コマツ株式会社、Offivibe Vica、ファナック株式会社、Bosch JAPAN

【今後の設備導入計画】

KDM造型ライン更新、FMS導入、三次元測定機、高圧洗浄機

本補助事業にて自動倉庫、生産管理システム

当中長期計画より売上高について下記の通り記載する。弊社は前述の通り鑄造部門と加工部門からなり、鑄造部門は5%/年の成長率、加工部門は2%/年の成長率で売上高を推移する計画である。また、新規事業に関しては5%/年の売上高を予測しており、2031年には売上高103億円を達成する見通しである。具体的には2027年までに下記の取組と各目標を計画している。

具体的計画	目標数値
SAT経由の輸入及び他社への販売	年商5億円/年
母機メーカー、海外メーカーへの拡販	売上5億円/年
新規事業への挑戦(半導体関連等)	売上1億円/年
加工部門売上増加	売上10億円/年
鑄造部門製造量増加	生産量2000t/月
鑄造部門社内不良率	5%以下
生産性向上：生産性2割改善(仕上げ部門80kg/h)	7t/月

